

授業科目名【科目コード】 保育・教職実践演習 (幼稚園)【1224】	教員の免許状取得 のための必修科目	単位数 2単位	担 当 教員名	森岡 伸枝、池田三津子、 安部 久美、川口 礼子	作野 友美、松田 好子、 畑中 久子	対象 区分	すべて	—	—
科 目	教育実践に関する科目(教職実践演習)								
履修時期	2年次後期	履修履歴の把握(※1)	○	学校現場の意見聴取(※2)				○	
受講者数 250人(約36人×7クラス)									
教員の連携・協力体制 教科に関する科目の担当教員と教職科目に関する担当教員の緊密な連携と協力の下に授業を進める。 また、学校・教育委員会にも協力を要請し、必要に応じて学外の講師を招く。									
授業の到達目標及びテーマ 保育士や幼稚園教諭に求められる資質である使命感、責任感、教育的愛情、社会性、対人関係能力、幼児理解、保育内容の指導力を自覚するとともに実践的指導力を培う。 そのために、保育現場が抱えている今日的課題について調査研究し、討議するとともに、ロールプレイ(模擬保育)などを行って自己の課題を明確化しつつ、実践的指導力を高める。受講には積極的な参加意欲と創造性が必要である。									
授業の概要 教員がコーディネーターとなり、さまざまな課題・問題等を定義し、ディスカッション中心に授業をすすめる。保育・教育の全体像を把握し、理解に努めるとともに、各課題に応じて、討論・模擬授業やロールプレイング、事例研究、討論、フィールドワーク(関連施設への見学・参加等)等、実践的かつ積極的な学習活動を通じて保育士や幼稚園教諭への意欲を高め、資質を研ぐ。									
授業計画(前回スクーリング)									
第1回：オリエンテーション(履修カルテを使用しつつ、当演習における各人の課題を意識化する) 第2回：保育現場が抱える今日的課題から各人(グループ)のテーマを設定する 第3回：設定したテーマについて、各人(グループ)で調査研究する①～先行研究の検索 第4回：設定したテーマについて、各人(グループ)で調査研究する②～研究方法の検討 第5回：設定したテーマについて、各人(グループ)で調査研究する③～研究対象の選択 第6回：設定したテーマについて、各人(グループ)で調査研究する④～調査実施 第7回：設定したテーマについて、各人(グループ)で調査研究する⑤～結果のまとめ 第8回：調査研究した内容の発表と討議(課題と知見の共有)①～「第7回」で得られた結果について発表					第9回：調査研究した内容の発表と討議(課題と知見の共有)②～結果からの考察を討議 第10回：調査研究した内容の発表と討議(課題と知見の共有)③～今後の課題について討議 第11回：あなたはこんな時どうする1：ロールプレイによる模擬保育①～作成した指導案に基づいて実施 第12回：あなたはこんな時どうする2：ロールプレイによる模擬保育②～①での反省を活かして修正 第13回：あなたはこんな時どうする3：ロールプレイによる保護者支援 第14回：これまでの学修を振り返り自己の保育者像を考える(発表と討議) 第15回：これまでの学修を振り返り自己の保育者像を考える(レポート作成)				
テキスト 「保育所保育指針」(厚生労働省) 「保育所保育指針解説」(厚生労働省) 「幼稚園教育要領」(文部科学省) 「幼稚園教育要領解説」(文部科学省)									
参考書・参考資料等 ・授業の到達目標及びテーマに基づいて各自考えておくこと。									
学生に対する評価 全時間の出席を前提とし、調査研究の内容、討議・ロールプレイなどの課題への取り組みの様子、幼稚園教諭・保育士として必要な資質能力に関する自らの振り返りと考察などを総合して、評価を行う。									
持参物 テキスト、ノート、筆記用具、実習記録ノート ・自分の調査研究のテーマがある場合、収集した資料があれば持参してください ＊畑中先生クラスのみ⇒実習の時に使った手作り名札も持参してください。 ＊池田先生クラスのみ⇒2つ穴A4ファイル									

※受講希望者は、『履修カルテ』を作成し、受講申し込み時に併せて提出のこと。